

成果事例（盛岡市中心市街地におけるバスターミナル整備事業）

H30年度「（仮称）新盛岡バスセンター」整備による中心市街地活性化のための基盤整備検討調査 【実施主体名：盛岡市】

○ 基盤整備の必要性（申請時の課題）

旧盛岡バスセンターは、盛岡駅の東側約2kmに位置し、中心市街地のバス交通を盛岡駅とともに支えてきた民間事業者が運営するバスターミナルだったが、施設の老朽化に伴い、平成28年9月に営業が終了した。地域公共交通網を維持し、地域のにぎわいを創出するため、旧バスセンター跡地にバスターミナル（公共施設）と民間収益施設が一体となった新たなバスセンター整備の整備が必要とされていた。

○ 調査内容

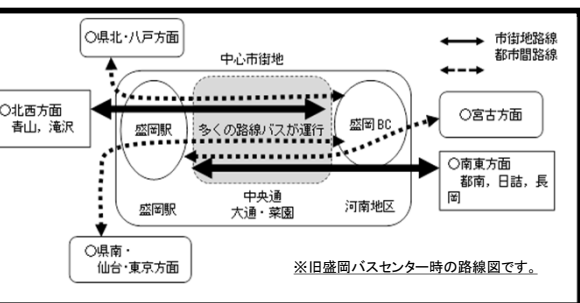
- ・バスターミナル機能・規模の検討、需要調査、概略設計、概算事業費算出、整備効果検討
- ・道路拡幅に係る概略設計、概算事業費算出、整備効果検討

【対象地域：岩手県盛岡市】

図1 位置図



図2 バス交通の特徴



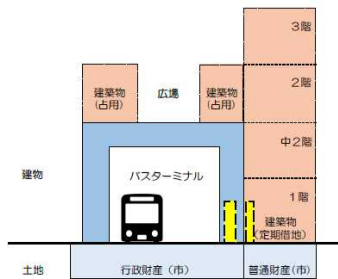
○ 調査成果の活用（基盤の事業化）

- ・（仮称）新盛岡バスセンター整備事業基本方針（H30.9策定）
- ・（仮称）新盛岡バスセンター整備事業の推進に関する実施協定（R1.6締結）
- ・新バスセンター整備（R2年度中事業着手予定）
- ・道路拡幅に係る整備（R2年度中事業着手予定）
- ・新バスセンター供用開始（R3年度中供用予定）

（仮称）新盛岡バスセンター R3年度開業予定



【施設整備区分図】



【バスターミナル配置計画図】



○ 導入したPPP/PFI事業手法等について

代理人方式										
事業方式・事業類型等	（バスターミナルとにぎわい施設を設計・施工の一括発注による一体整備） （にぎわい施設は普通借地方式等を検討中）									
導入する施設機能等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>整備主体</th> <th>予定運営母体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バスターミナル</td> <td>盛岡市</td> <td>盛岡市・バス事業者</td> </tr> <tr> <td>にぎわい施設（温浴施設・子育て支援施設等）</td> <td>民間事業者（代理人等）</td> <td>民間事業者（代理人等）</td> </tr> </tbody> </table>	整備内容	整備主体	予定運営母体	バスターミナル	盛岡市	盛岡市・バス事業者	にぎわい施設（温浴施設・子育て支援施設等）	民間事業者（代理人等）	民間事業者（代理人等）
	整備内容	整備主体	予定運営母体							
バスターミナル	盛岡市	盛岡市・バス事業者								
にぎわい施設（温浴施設・子育て支援施設等）	民間事業者（代理人等）	民間事業者（代理人等）								
スキーム図										

※イメージ等は現時点のもので、今後、変更することがあります。

成果事例（大崎市中心市街地における再開発事業）

H26年度 大崎市中心市街地エリアにおける地域活性化のための基盤整備検討調査

【実施主体名：大崎市】

○ 基盤整備の必要性（申請時の課題）

大崎市は、少子高齢化と商業の衰退、並びに東日本大震災の影響によって、市街地中心部の衰退が顕著であった。そこで、災害に強く、市街地に活気を取り戻すための取り組みを始めたところ、中心市街地における防災拠点の必要性、土地区画整理などの再編の必要性およびアクセス道路の脆弱性の課題が浮上した。

○ 調査内容

- ・ 広域防災活動拠点について、土地利用計画、配置計画の作成、事業費算定の算出
- ・ 市役所周辺地区について、土地利用計画、事業手法、事業計画等の作成

○ 調査成果の活用（基盤の事業化）

- ・ 防災拠点の核施設「道の駅」（R1.7供用）
- ・ 土地区画整理事業（R4.3完了予定）

○ 関連する民間の活動状況

【大崎市古川七日町西地区第一種市街地再開発事業】

商業の衰退により活気が失われた商店街に活気とにぎわいを取り戻すため、本地区の再開発に向けた気運が高まっていた。

そこで、古川七日町西地区市街地再開発組合が主体となって、周辺地区の土地区画整理とあわせて、再開発に向けての歩みがスタートした。

本事業は、令和元年に当該地区の建築物の着工をし、令和4年度の完了を目指しており、現在整備中である。

市街地再開発イメージ



【対象地域：宮城県大崎市】



広域防災活動拠点
防災拠点、道の駅等

子育て支援施設
（R1.11供用開始）



R1.7.5オープン後、にぎわう
道の駅「おおさき」



市役所周辺地区
道路、区画の再編

○ 道の駅利用者

7月5日開駅から11月末まで（約5ヶ月間）の延べ人数

21.3万人（実績値）